

# 第3回

## 「米坂線に乗って、 米坂線を写そう！」 フォトコンテスト入賞作品

\*敬称略。作品はカラー写真です。

「米坂線に乗って、米坂線を写そう！」フォトコンテストの審査が2月17日に行われ、入賞作品が決定しました。

今回は、昨年1月から12月末までの1年間を撮影期間として募集を行い、52人、126点の応募がありました。審査は2月17日、山口冬人さん(新潟県写真家協会理事)、柏倉信吉さん(山形県広告写真家協会会長)、平田大六期成同盟会会長が行い、22点の入賞作品を決定しました。

### 最優秀賞 「撮影会」



川上貞憲(村上市)

### 優秀賞 「箱庭のような風景」



唐木 仁(三条市)

### 入選 「わしらの田んぼ」



渡辺アツシ(福島市)

### 入選 「豊穣の頃」



齊藤 徹(飯豊町)



相馬 鋼(新発田市)

入選  
「残照」



高橋宏太郎(羽村市)

ご当地賞  
「晩秋を走る」



小笠原 弘(長井市)

ご当地賞  
「新雪の飯豊連峰」



神尾 彰(米沢市)

ご当地賞  
「初雪の頃」

先生から  
先生に



安達智美先生

(関川中学校 1年副任)

# 随想リレー

61

小さい頃、友人が演奏している姿を見た瞬間からピアノに興味を持ち始めました。初めは単純な思いで始めたピアノでしたが、いつのまにか本格的に音楽を学ぶ道へ。

その後も、先生から出される課題曲を演奏する日々。しかし、いろいろな曲を聴いていく中でいつの間にか誰もが弾くような曲ではなく、逆に知らない人が多い『マイナー』な曲に興味を持ち始めていきました。周囲からは「変わり者」と思われることもしばしば。しかし、徐々に次の曲を期待されるほどになり、それがとても楽しくなり始めていきました。その後も、演奏する曲は「有名な作曲家のマイナーな曲」から「あまり知られてない作曲家の曲」へとエスカレートし

ていき、演奏される機会が少ない曲を選ぶため、大変なこともありました。しかし、やると決めたらとことんやる！結局、最後は校内で初演の曲を演奏し、自己満足で学生生活を終えました。

探究心は大切だと思います。人と同じことをやってもつまらない！たとえ周囲に変わり者と思われても、自分が「これだ！」と思えば何でもやり抜けます。最近、曲を聴くどころかピアノを弾くことも少なくなりました…。そろそろ、また新たな『マイナー』曲を発掘したい今日この頃です。

音楽は人を変える不思議な力があります。それは演奏者にとっても聴き手にとっても。音楽に出会ったことで多くのことを学べました。

5月1日号は、嶋貫萬里子先生(女川小)にバトンタッチ！



「」当地賞  
「朝日を受けて」

安部 聡

(山形市)



「」当地賞  
「夏・朝霧の彼方へ」

山中 英一

(山形市)



「」当地賞  
「帰り足」

鈴木 憲子

(米沢市)



「」当地賞  
「冬の日和」

高橋 信弘(米沢市)

佳作 \*紙面の都合でお名前のみ紹介します。

安森直輝(新宿区)・高橋勝義(川西町)・大湊千広(米沢市)・石上英俊(袋井市)・栗賀亮輔(新発田市)・堀川邦宏(秋田市)・小笠原千代子(長井市)・八木克人(村上市)・吉村英俊(高畠町)・堀川明彦(郡山市)

入賞作品は米坂線整備促進期成同盟会ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.flowering.ne.jp/yonesaka/>